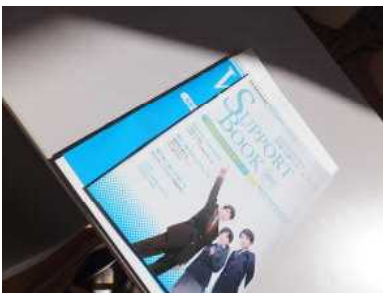


この時期に遠足？



先日、二年生がバスに乗り込み出かけていきました。見た目は遠足に出かけているように見える写真ですが、実はいわき市高校生就職支援事業の一環として「いわきの“職”体感ツアー」という企画で、二年生の職業に関する興味と就業意識の醸成を図ることを目的に、市内の企業見学や職業訓練体験に出かけることでした。

今回は、コロナ禍の中、東新工業株式会社いわき四倉工場様と木村ミルクプラント株式会社様にご協力頂きました。実は、このツアーに先立つ一月下旬には、



働くことへの動機付けから、就職面接での表現の強化まで、二年生に自ら考え行動させることで「就職力」を高めさせる企画として、就職ガイダンス（就職活動準備支援期コース）を行っており、二年生は服装などをしっかり正した上で、意識を持ってツアーに出発していききました。

とはいえ、コロナ禍で修学旅行も遠足に変更となつてしまい、校外での学習が制限されていた二年生。どうしても、若干、少しは、ごく少数、はしゃいでいるように見えて心配です。進路指導部長の、「大丈夫、変わりますから」という言葉に少し安心して、出発を見送りました。



プレゼンテーション

一年生は、総合探求の研究発表として、映像にまとめた資料を使ってプレゼンテーションを行いました。



テーマは「食事と和食」「人工中絶について」「国魂神社について」「ゲームは学力に悪影響があるのか」「歌をうまく歌う方法」「髪の毛をサラサラにする方法」等々、社会問題から、学校生活、日常生活に関わるものまで、多岐にわたっていました。発表スタイルも一人だったり、チーム内で分担をするものまで様々。まだまだ不慣れで、声が小さかったり、原稿を棒読みしたり、映像の文字が小さすぎて読めなかったり等ありましたが、まずは聞き手を意識し、自分の意見を主張する第一歩。経験をどんどん積みめば、きっとうまくいきます。

新制服（着用 Ver.）



食卓でママと一緒にタブレットを覗く。「次」ママの指が画面をスライド。「今のもだめなの」「ここは潔く、いつもどおりチョコ買おうよ。じゃなければ、これ！」ママがタブレットを私の顔の前に突き出す。画面には『溶かすだけ！超簡単』って大きな文字。「溶かして固めてぱらぱらトッピング」ママは完全にめんどくさモードだ。「だいたい、何で急に作るってことになったわけ？それもケーキ。」「だって買ったチョコじゃパパ驚かないでしょ、結婚二十三年目記念ってことで。」「あのさ、すごい中途半端な記念なんだけど？」まずい、誤魔化さないと。「あ！ママ、Dタム、恋の応援ソング特集だって」「あら、大変。とにかく、簡単にできるの選んで！」ママはタブレットを私に押しつけた。

木曜の放課後、私は近所のスーパーに寄って材料を調達した。材料と言っても、私を選んでのはホットケーキミックスにチョコチップ、ココアを混ぜて作る簡単チョコチップケーキ。あつという間にそろった。

「ただいま、ママ。ケーキの材料買ってきた」「おかえり、ん？材料？土曜に買えば日曜に間に合うのに。」

そう、今年のバレンタインデーは日曜日だ。いつものバレンタインなら、買ってきたチョコをパパに渡す以外に、これといてすることがない。学校ではボーイッシュな髪型のせいか男の子扱いで、紗英たち女の子からチョコをもらう役で過ごしていた。もちろん収穫した義理チョコは、放課後に拓也と紗英と一緒に食べながら帰るのが中学校からの恒例の過ごし方だった。

でも今年はずう。私は初めて贈る側になるのだ。私は私の気持ちに正直になる。私は元々自分を飾る方じゃないけれど、それでも拓也といる時、私は本当の自分を感じられた。拓也が紗英のことが好きで、二人がつきあうきっかけを作ったのは私。それに紗英とは親友だ。それはわかっている。日曜のバレンタインはきつと二人でデートだろう。二人が会うのを邪魔したり、紗英から無理に拓哉を奪ったりしたいんじゃない

い。拓也が好き。拓也の前で本当の自分を感じられるからこそ、拓哉が好きという気持ちを伝えなければ、自分に嘘をつくことになる。だから、学校で拓也に直接それを伝えられる明日、金曜日が私にとってのバレンタインだ。

「ねえ、ママ、今日どうしても作りたいんだけど」「え、だって日曜までは……」キッチンに入ってきたママが黙って私の目を見つめる。「誰に渡したいの？」「拓也」「拓也君って、紗英ちゃんの？」「うん……」「二人はまだつきあってるんでしょ？」「うん……」うなづく私をもう一度ママが見つめる。「いいの？拓也君があなたの気持ちに伝えるとは思えないけど」「うん、好きっていう気持ちを伝えたいだけだから」ママの目をまっすぐ見つめ返した。

「はいはい、中途半端な結婚記念とかおかしいと思ったのよ」ママはそう言っ、私の手からタブレット取り上げ、作り方を読み始めた。「手伝ってくれる？」「当たり前でしょ、真剣なんだもの。失恋の手伝いしてあげるわ」明るくママが応える。「え？ママひどい」不思議と力が抜けた。「土曜はママが作るの手伝いなさいよ、まあ、ママの場合は失恋しないけど」ママは応援ソング特集でDがチョイスしていた曲を歌いながら、冷蔵庫に牛乳を取りに行った。

♪あなたのこと

♪どんどん好きになってくる

♪これだけは言わずにいられない

♪あなたといる時の自分が一番好き

♪探してた答えは

♪易しい照れくさいその手はあたたかい

(作詞 吉田美和「決戦は金曜日」)

歌 DREAMS COME TRUE

(つづく)

校長のひびき

まもなく三月一日、卒業式です。卒業生の晴れやかな姿が楽しみで仕方ありません。

(本紙中のイラストは「50歳まで」WEBよりお借りしております。)

決戦は金曜日

